



特定非営利活動法人
発行 くまがや小麦の会
発行責任者 日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会 検索

認定NPO法人
くまがや小麦の会
since 2006
事務局 〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 22



利根川河川敷にある妻沼グライダー滑空場は、年間飛行回数が約2万回で国内最多といわれ、関東24校の大学がスケジューリングを調整し合いつつ毎日のように飛行訓練が行われている。この日、第2滑空場練習が行われていたのは慶應義塾大学の学生たち。慶應の航空部は学生グライダー競技の世界で空の王者と呼ばれる強豪、昭和5年創部の長い歴史の中で数々の大会を制してきた。

OBとの繋がりが成り立つ航空部
航空部では先輩部員が後輩にひととりの基本指導を行い、OBも教官や監督として指導に携わる。就任7年目の監督・栗山さんは熊谷市在住の慶應航空部OB、仕事の傍ら休日を中心に学生の指導に当たる。上昇気流を利用して飛びグライダーはエンジンが無い



チームプレイで大空を舞うグライダー
ひと彩々

慶應義塾体育会 航空部 監督
くまがや おさむ
栗山 修さん

東京都文京区出身
昭和32年2月26日生まれ
昭和56年3月慶應義塾大学経済学部卒業
オイルシールやパッキンを代表とする工業部品のメーカーであるNOK株式会社に入社、平成23年に慶應義塾航空部の監督に就任。

チームプレイで大空を舞うグライダー

ため離着陸のやり直しが出来ず、安全教育や機器の整備指導等の責任は重大だが、後進の育成には大きなやり甲斐を感じているという。
「日本の大学ではグライダーを個人競技ではなく団体スポーツとして捉えている。皆で役割分担のうえ連携して飛ばさないと安全が確保できない。」との言葉どおり、礼儀正しくきびきび動く学生達は、皆それぞれの持ち場で離着陸と飛行の「フォロワー」という一つの企業が「グライダー」という栗山さんは話の合間にも、飛行を終えた学生が機体から降りてくると即座に細かな指導を行い、真摯な姿勢として学生との信頼関係が垣間見えた。



滑空場近くの妻沼訓練所と呼ばれる施設は学生の合宿生活宿舎が設けられ約130名の宿泊が可能、その宿舎の維持管理を任されているのが中村さん。自身もベテラン操縦士で、基本的に学生の指導は各校OBが受け持つが、OBが来られない時は指導に回ることもあるという。「昭和38年開設の滑空場は当時の学生が関東中を走り回り条件の良い地として選ばれた。滑走路と平行に風が吹き基本練習に適していた。」と滑空場への愛着を滲ませながら語ってくれた。(N・T)



公益財団法人日本学生航空連盟
妻沼訓練所長 中村暢宏さん
昭和27年7月11日生まれ

栗山さんと同じく慶應義塾航空部OBで6年前より日本学生航空連盟の専務理事を務める貫禄たっぷりの吉田さんは、グライダー競技に於ける「生きた教育」と合理的指導の導入に尽力してきた。「グライダー競技が学生にもたらす教育効果は大きい。協力が合いながらの団体訓練とPDCAサイクル(※①)徹底によりコミュニケーション力とコーディネーション力が自然と身に付き、社会人として通用する人間が育成される。自立心も育まれ、部員の親御さんも我が子の成長に感動する。」と語る。



公益財団法人日本学生航空連盟
専務理事 吉田正克さん
昭和14年12月26日生まれ

※① PDCA: Plan (計画)→Do (実行)→Check (評価)→Act (改善)

公益と私益の調和
日向美津江
◆明治11年(1878年)東京、大阪神戸に商工会議所が設立されて今年140年目にあたる。創設者の洪沢栄一翁は、深谷市血洗島の蘭玉農家に生まれる。父親に論議の手解きを受け、京都へ出奔し、一橋慶喜に仕える。15代将軍團として慶喜の弟徳川昭武に従い、フランスに渡った。明治維新になり帰国するまで2年弱、パリに滞在し、ルイ・ボレオン3世が皇帝となり、資本主義を注入した。武士も商人も差別の無い社会に憧れた。渡欧体験が洪沢栄一翁の経営理念、自分の会社だけ良ければよいのでは無く、社会に還元してゆく社会的貢献を兼ね備えていなければならない」と提唱した。日本の近代資本主義に影響を与えた。500社の企業(富岡製糸場、第一国立銀行、日本郵船、東京瓦斯、帝国ホテル、札幌ビール、日本興業銀行、東京電力、NHK、日本空港輸送等々)を創設し、600社に及ぶ社会事業団体に関係していった。女性の社会進出にも意欲的であり、東京女子学館、日本女子大学の創設者でもある。
◆現在の経済環境が道徳的な企業理念を実践した洪沢栄一翁の再来を期待している。洪沢栄一翁は論議を二松学舎に入り研究し直す事を行っていた。日本の儒教の精神を現在の経営に生かしてゆくという機運も高まっている。企業の社会的貢献を視野に入れたリーダーの出現を待っている。
◆長野県小布施町の市村良三町長の存在が思い起こされる。協働と交流のまちづくりを掲げ、人口1万1千人の町に120万人の観光客を観光客を呼び寄せた。晩年の葛飾北斎が高井鴻山市村家の先祖に招かれ滞在した。小布施町の中心に北斎館が開設され町づくりに核になっていく。市村町長のリーダーシップは「官民協働」柔軟な思考と道徳的な経営理念が貫かれています。好奇心と洞察力で実践に移す。物事に対し市村町長の様に誠意をもって熱心に取り組んだらリーダーに付いてゆく。公益と私益の調和をもって現在に実践されていると感じさせてくれる町長だ。町も企業もリーダーで大きく変わる。
◆洪沢栄一翁は1931年11月11日91歳で永眠された。長寿社会の現在にも通用する見事な健康長寿であった。

小麦の会 活動報告

12/17(日) 第9回エアリス30km in 熊谷・立正大学

販売にクッキー付ソフトクリームが加わり2年目になる。ご自分の記録をゼッケンに記入した、参加者がそれぞれのコースを走り戻ってくる。市外からの参加者も多く、熊谷産サブレを話を交わしながら買って行かれた。販売も頑張った。



12/25(月) 雀幸園クリスマスパーティー

小麦の会会員の友清洋子さんとお嬢さんの裕美さんは音楽大学出身。雀幸園の園児を歌唱指導して4年になります。音楽の持つ情緒に働きかける力は素晴らしいものがあるようです。今年も園のクリスマスパーティで日ごろの練習成果をご披露することが出来ました。「聖しこの夜」ジングルベル等々クリスマスソングに加え、練習を積んだ「トゥモロー」上出来てした。



1/1(元旦) くまサブレを御供物に! 久保島神社

熊谷産小麦を原料に製造されておりますくまサブレを久保島神社さんが御供物に採用して頂き8年目になります。ご発注頂く枚数は年々増し昨年より1000枚になりました。熊谷の地でくまサブレがこのような御採用のされ方は誠に有難いこととございます。



3/18(日) 第28回 熊谷さくらマラソン 熊谷さくら運動公園

競技参加者は小麦の会から金子さん、10Kを完走。笑顔振りまくことがモットーと。ソフトクリームに丁度いい気候長蛇の列ができて完走。持参する数が少なかった。地粉パンも11時には無くなってしまった。年々来場数が増しているようだ。



3/31(土) 全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会

2019年にはワールドカップラグビーが熊谷ラグビー場でアルゼンチン戦を含めて3日間開催されます。全国選抜高校ラグビー大会もさぞ盛り上がるかと勇んで出陣したが、そうでは無かった。例年100個ほど販売していたラグビーサブレセット10枚入り35個の売り上げでした。お土産にニューノーマル旋風が吹いた大会でした。



Whispering with Love

井内鈴子リサイタル

小麦の会会員の井内鈴子さんが、軽井沢大賀ホールで演奏会を開催されます。井内さんは広島県出身、熊谷市在住のピアノ&チェロ奏者で、エリザベイト音楽大学を卒業後に中学校・高校の音楽講師やエリザベイト音楽大学演奏講師を歴任、また埼玉交響楽団など著名な楽団での演奏も経験されています。4年前にも膜下出血で倒れて半盲の後遺症も残る中、活動を続けて今回「いつか大賀ホールで演奏したい」という夢を叶えられます。入場無料となっておりますので、お話し合わせのうえ是非ご来場ください。



日時 2018年5月19日(土)
開場 13:00 開演 13:30 終演 15:30
会場 軽井沢大賀ホール TEL.0267-42-0055
長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢28-4
料金 無料
(整理券等はございませんので直接ホールにお越しください)
出演 井内鈴子(チェロ&ピアノ)
逸見良造(ピアノ)
愛のささやき合唱団(軽井沢少年少女合唱団 他)
曲目 愛の夢/月の光/白鳥/ねむの木の子守歌/ビリーブ(手話)他
問い合わせ パッサロ事務所/048-588-6982



あの町この店

JAくまがやふれあいセンター箱田店

店長 狩野常明さん

〒360-0014 熊谷市箱田 5-9-18
電話 048-522-2587
営業時間 1月~2月:9時~17時30分
3月~12月:9時~18時
定休日 無休(年末年始を除く)



野菜の一大産地である熊谷市は、豊富な新鮮野菜が身近なところへ入手できる恵まれた環境にあると言えます。そして朝採りのイキの良い野菜を求めるとき、多くの方がまずJAの直売所「ふれあいセンター」を思い浮かべるでしょう。ふれあいセンターは熊谷市内に5店舗あり、その中でも市の中心地に店を構えるのが箱田店。街中に住みながらも徒歩や自転車で行ける近所のお店で採れたての地元野菜が買えるのとあって、朝から行列が出来るほどの人気を博しています。

3月から箱田店の店長を務める狩野さんは、にこやかに接客しつつ、一方で慣れた手つきで商品の陳列を整えて「野菜は農家の方々が毎朝7時半から持ち込みます。お客様は毎日買いに来てください。顔馴染みの方も多いですよ。」と話してくれました。入口近くの目立つ所には「季節の顔」として旬のものが並びます。春の旬野菜はトマト、きゅうり、ほうれん草、菜の花、セリなどが並び、この時まさに飛び込んできたのは、鮮やかな濃い緑のほうれん草。ここからの季節は、旬が短くてすぐに売り場から姿を消してしまふ春キャブや、4月中旬から出回る春のブロッコリーなどもおすすすめ、とのこと。



JAは常に農家と二人三脚。「旬の野菜を大事に、お客様の購買動向を見ながら生産者とともに臨機応変に売り場を作っています。売り場の一角には小麦の会のサブレやパウンドケーキも置いていただいておりますが、安心してお任せできる頼もしさを感じます。(N・T)

イベント出店予定

- 4月
22日(日) 全日本10ダンス選手権大会 深谷ビッグタートル
28日(土) 第12回友山まつり 根岸家長屋門
29日(日) 第14回チャレンジ・ミートアップ in くまがや 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
5月
13日(日) 問屋町祭り2018 熊谷流通センター
26日(土) 認定NPO法人くまがや小麦の会 定例総会 ガーデンパレス
27日(日) 第8回熊谷B級グルメ大会 熊谷スポーツ文化公園
6月
2日(土) 第10回こうなんホテルまつり
23日(土) 熊谷商業高校販売実習 熊谷駅コンコース

会員募集
賛助会員年会費 10,000円 一般会員年会費 一口1,000円
お申込み: TEL 048-521-7801 FAX 048-521-7900

次号のお届けは2018年9月の予定です。
編集室 TEL 048-521-7801 FAX 048-521-7900